

中央東農業振興センター農業改良普及課

管内市町村 管内 J A	南国市、香南市、香美市（3市） JA 南国市、JA 長岡、JA 十市、JA 土佐香美（4JA）
地域の概要 ・産地の特徴 ・主な園芸品目	物部川流域に位置する管内は販売農家数・経営耕地面積で県下の20%程度を占める大きな産地です。平地～中間農業地域では 水稻のほかに施設でニラ・小ネギ、加温施設でメロン・トマト・ピーマン・ナス・シシトウ・大葉・トルコギキョウ・ハウスミカン、露地でミカン・青ねぎ・ニラ・甘藷・生姜・オクラ・シシトウ、雨除け施設でシシトウが栽培され、また山間地域では露地ミカン、ユズなどの特産果樹や四方竹などが栽培されている多様な農業生産地帯である。
地域の課題と 重点的な取組	<p>生産振興</p> <p>基幹品目ニラは、出荷量・品質の周年安定化の課題があります。①品種と作型の改善②炭酸ガス施用効果の検討③品質向上対策（軟腐病、遮光資材等）④雇用労力不足対策として調整作業の機械化に取り組みます。</p> <p>南国市シシトウは、燃料等の生産費の高騰、出荷量・の伸び悩み、生産部会の活性化等が課題です。①省エネ機器や資材の検証・導入②低収要因の解消、③炭酸ガス施用技術活用に取り組みます。</p> <p>また、ピーマン、オクラ、青ネギ、ユズ、ミカン、トルコギキョウ、トマト、メロン、スイカでも、収量・品質の向上や省エネ対策、炭酸ガス施用技術確立に向けた検討等に取り組みます。</p> <p>柚子では、優良農地を担い手に集積するシステムづくりや、鳥獣被害対策導入・防護柵の支援をします。</p> <p>IPM技術では、土着天敵の利用を組み合わせたり、ウリ科野菜の天敵利用技術の確立に取り組みます。オオバでは試験機関と連携しアザミウマ類やモザイク症の総合的防除体系の確立に取り組みます。</p> <p>流通・販売支援</p> <p>南国市のシシトウ生産者は、JAの枠を超えた生産者大会や消費宣伝、出荷情報の発信等を行なっています。①出荷予測と効果的な情報発信方法 ②消費宣伝活動、③市場との連携強化などにより生産部会活動の活性化に取り組みます。</p> <p>米産地支援</p> <p>早期米の高温障害対策実証や高品質安定生産技術の徹底指導に取り組むとともに、香美市香北町の『菰生米』のブランド化に取り組みます。また、4水稻採種組合に対して優良種子の生産を支援します。</p> <p>集落営農の推進</p> <p>農業・農村を支える仕組みづくりの強化が課題です。①支援体制の整備、②組織化の推進、③組織活動の促進 に取り組みます。集落営農塾の開催、各種施策の活用促進など段階を踏んだ支援を行います。</p> <p>また南国市では国営基盤整備事業の進捗も視野に入れながら、香美市では広域活動組織設立の検討を、関係機関と連携して取り組みます。</p> <p>6次産業化</p> <p>南国市の農家レストラン「まほろば畑」は、5年間存続を目標に取り組</p>

	<p>んでいる経緯があり、新たな運営方法の検討が課題です。香南市の直販所「やすらぎ市」では、加工計画に沿った稼働や新たな商品開発が課題です。試作品の販売開始や新たな加工品開発を支援します。</p> <p>担い手育成</p> <p>新規就農者数は、近年増加傾向で、作物はニラ、シシトウ、青ネギ等です。担い手の確保・育成と個々の経営強化を図ることが課題です。①就農相談や実践研修など就農希望者への支援 ②農地やハウスの確保などの営農開始の支援 ③営農技術指導や経営面での支援に取り組みます。</p>										
<p>人員配置</p>	<p>平成27年度職員総数 22名（うち実務経験が3年未満の職員2名）</p> <table border="1" data-bbox="491 685 1310 1122"> <tr> <td>農業改良普及課長</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>地域営農担当</td> <td>チーフ1名 普及指導員5名 (担当エリア) 南国市、香美市、香南市</td> </tr> <tr> <td>産地育成第一担当</td> <td>チーフ1名 普及指導員4名 (担当エリア) 香美市</td> </tr> <tr> <td>産地育成第二担当</td> <td>チーフ1名 普及指導員4名 (担当エリア) 香南市</td> </tr> <tr> <td>産地育成第三担当</td> <td>チーフ1名 普及指導員4名 (担当エリア) 南国市</td> </tr> </table>	農業改良普及課長	1名	地域営農担当	チーフ1名 普及指導員5名 (担当エリア) 南国市、香美市、香南市	産地育成第一担当	チーフ1名 普及指導員4名 (担当エリア) 香美市	産地育成第二担当	チーフ1名 普及指導員4名 (担当エリア) 香南市	産地育成第三担当	チーフ1名 普及指導員4名 (担当エリア) 南国市
農業改良普及課長	1名										
地域営農担当	チーフ1名 普及指導員5名 (担当エリア) 南国市、香美市、香南市										
産地育成第一担当	チーフ1名 普及指導員4名 (担当エリア) 香美市										
産地育成第二担当	チーフ1名 普及指導員4名 (担当エリア) 香南市										
産地育成第三担当	チーフ1名 普及指導員4名 (担当エリア) 南国市										
<p>普及活動の進捗よく管理</p>	<p>重点課題、総合課題は、毎月チーム会で課題や普及事項の進捗状況・結果や対象の情報や新たな課題などを協議し、課題の展開を図っている。個別課題・一般課題も同様に毎月3市チーム会で進捗状況や課題、取り組み手法を話し合い、情報を共有している。4半期ごとの実績報告は環境農業推進課に報告をしている。各種補助事業や集落営農・担い手関連は、毎月各市の連絡会で情報共有を密にして、新たな対象や課題や進捗管理に当たっている。</p>										

職員の資質向上
の取組状況

●職場研修

- 1 I P M技術及び施設園芸における環境制御技術全般にかかる基礎知識の習得
 - ・炭酸ガス施用装置を導入し、施設内の環境を制御し光合成を促進させ収量・品質等を向上させる取り組みへの技術指導や経営相談等を円滑にすすめるため、伊藤直主任を講師に I P M技術や環境制御技術の基礎知識を習得する研修を実施。
- 2 担い手育成にかかる基礎知識の習得について
 - ・担い手育成センターでの研修状況や研修支援事業の実態を踏まえ、就農希望者のスムーズな就農に向けた方策について共有するとともに、就農に向けた支援策の基礎知識を習得するために、中村チーフを講師に研修を実施。

●新任者を対象にした O J T

- ・現地実践研修として香美市香南市の基幹品目のニラを対象品目として品種比較調査や生産部会活動に先輩職員に同行。
- ・ニラ作型改善農家の聞き取り、そぐり機導入希望農家の申請書作成補助
- ・実証ほの取りまとめ補助

●国段階研修（平成27年度）

新規採用普及職員研修	1名
普及指導員実務能力習得研修（マネジメント）	1名
新規就農支援研修	1名
新技術農業機械化推進研修（ネギ）	1名
新品種・新技術コーディネーター研修（果樹）	1名

●県段階研修（平成27年度）

派遣研修（先進技術習得コース：環境制御技術等の修得）	2名
農業担い手育成センター研修	2名

また、財務諸表分析力向上のために計画推進課（物部川地域本部）の「会計事務基礎研修」にも参加。

上記の他、県内専門技術高度化研修、自主企画研修などへも参加。